

# 転換期のシンガポール

「リー・クアンユー・モデル」から「未来の都市国家」へ

Singapore in Transition: Changing City-State in 2010s

久末 亮一著

アジア経済研究所



# 転換期のシンガポール

「リー・クアンユー・モデル」から「未来の都市国家」へ

Singapore in Transition: Changing City-State in 2010s

久末 亮一著

アジア経済研究所



## 第1章 「リー・クアンユー・モデル」の限界 1

- 1 リー・クアンユーという男 1
- 2 シンガポール独立と急速な経済発展 2
- 3 政治体制と社会統制・改造 3
- 4 「ファシズム」(全体主義)の血脈 6
- 5 「国家資本主義」の実現 7
- 6 「リー・クアンユー・モデル」の限界 10

## 第2章 2011年の転換点と 「リー・クアンユー・モデル」の終焉 15

- 1 2011年総選挙における野党躍進 15
- 2 2011年大統領選挙での大接戦 17
- 3 リー・クアンユーの完全引退,そして死去 19
- 4 「リー・クアンユー・モデル」の終焉 20
- 5 再分配の強化と財政構造の問題 23
- 6 2017年大統領選挙での退歩 26

## 第3章 「第四世代」の台頭のなかで 29

- 1 「第四世代」指導層の台頭 29
- 2 次期首相の決定 30
- 3 「第四世代」に課せられた使命 32
- 4 継続する社会的抑圧 35
- 5 未来への希望 38
- 6 シンガポール政治の新たな転機——2020年総選挙—— 40

## 第4章 経済構造改革の行方

45

- 1 シンガポールの経済構造 45
- 2 「未来経済委員会」提言の発表 48
- 3 高付加価値・創発型の産業モデル移行への取り組み 49
- 4 新産業育成に伴う失敗・軌道修正という現実 51
- 5 生産性向上および国内労働力の競争力強化への取り組み 54

## 第5章 米中対立の深刻化による対外関係の不安定化

57

- 1 シンガポール外交における原則と基本環境 57
- 2 急展開する米中対立構造の狭間で 59
- 3 南シナ海問題への対応 61
- 4 シンガポールと中国の摩擦表面化 63
- 5 岐路に立つシンガポール 65

## 第6章 複雑化する地域環境のなかで

69

- 1 地域内仲介者としての役割強化 69
- 2 迫り来るテロやサイバー攻撃の脅威 71
- 3 最隣国マレーシアとの高速鉄道計画の進捗と頓挫 74
- 4 2018年の対マレーシア関係の悪化 76
- 5 良好な対日関係の発展 79

おわりに——シンガポールの未来—— 83

参考文献 86



## 〔執筆者紹介〕

ひさすえ りょういち  
久末 亮一

アジア経済研究所開発研究センター企業・産業研究グループ副主任研究員。博士（学術）。専門はアジア経済史（19世紀～20世紀）、日本対外経済発展史（20世紀前半）、華僑・華人史、現代シンガポール政治・外交。主な著作に、「2019年のシンガポール」『アジア動向年報2020』アジア経済研究所（2020年）、『香港「帝国の時代」のゲートウェイ』名古屋大学出版会（2012年）など。

——所属は刊行時——

## 〈表紙写真〉

(表) マリーナ・ベイとマーライオン公園 (撮影：早川和伸)

(裏) プラナカン模様のタイル (撮影：早川和伸)

## 訂正履歴

(2022 年 7 月 5 日) コピーライト表記を修正しました。

## 転換期のシンガポール

——「リー・クアンユー・モデル」から「未来の都市国家」へ——

---

EPUB版 2021年1月15日発行

オンデマンド版 2021年1月29日発行

著 者 久末亮一

発 行 独立行政法人日本貿易振興機構アジア経済研究所

〒261-8545 千葉県千葉市美浜区若葉3丁目2番2

(電話) 043-299-9735

©Ryoichi Hisasue 2021 無断転載を禁ず

---

ISBN 978-4-258-04643-0



